

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 月例セミナー

とき 平成25年11月22日（金）15時～16時
ところ 農学部 BW106講義室

題目 「キクの花成に関する最近の話題」

講師 農学部教授 深井 誠一 博士

概略

キクは、世界の花き市場において最も重要な品目の一つである。光周性の発見以来、光情報の操作によるキクの開花調節が可能となり、切り花の周年生産が達成された。夜中に白熱灯を点けて開花を抑制する電照ギク生産の様子は、切り花産地では晩秋の風物詩となっている。近年の新光源LEDの実用化とフロリゲン遺伝子の発見は、園芸植物の開花生理に関する新たな知見をもたらしている。

本セミナーでは、栽培ギクの基本的開花生理を解説した上で、キク属のモデル植物であるキクタニギクを用いたキクの花成および花成関連遺伝子に関する最近の話題を紹介したい。